



取締役頭取

山本 孝之

ごあいさつ

皆さま方には、平素より私ども佐賀共栄銀行をお引立ていただき、誠にありがとうございます。

さて、本年もここにディスクロージャー誌「佐賀共栄銀行の現況 2007」をお届けいたします。

本誌は、当行の経営方針や組織のほか、この1年間の施策とその成果、地域社会とのかかわり等につきまして、具体的に、わかりやすくご説明しています。ご高覧のうえ、当行の経営内容等について、より一層のご理解を賜れば幸いに存じます。

平成18年度決算は、創業以来の最高益となった前年度に引き続き、黒字を確保することができ、資産の健全化を高めるための不良債権処理額等の総与信費用も順調に減少させることができました。また、経営の健全性の目安となる自己資本比率は9.49%と安心してお取引いただける水準にあります。

当行では、平成19年度より2年間で、第七次中期経営計画「創造的改革」の2nd.Stage「完成期」と位置づけております。収益管理・営業推進の改革を進めるとともに、組織及び内部管理の改革の完成を目指し、銀行の健全性の更なる向上を目指します。また、地域経済活性化と積極的な地域貢献を推進していくことで、目指す銀行像（長期ビジョン）「地域に信頼感と存在感のある銀行」の実現に向けて、役職員一同、より一層の努力を重ねてまいります。

今後とも、皆さま方の旧に倍するご支援・ご愛顧を切にお願い申し上げます。

平成19年7月

取締役頭取 山本 孝之